

RTA52i

追加機能マニュアル

このマニュアルではファームウェアリビジョン4.01以降で追加された新機能について説明しています。ユーザーズマニュアルと併せてお読みください。

目次

重要なお知らせ	2
i・ナンバーの機能追加	3
キャッチホン・ディスプレイ対応	4
ボタン操作の追加メニュー項目	5
ブザーの止めかた	6
フレッツ・ISDN (IP 接続サービス) 対応	8
LAN-TA 機能	10
リモートアクセスの設定	18

重要なお知らせ

プロバイダ契約について

RTA52iをダイヤルアップルータとしてご使用になる前、もしくは新たにプロバイダ契約を行う前に、必ずプロバイダの契約上ダイヤルアップルータによる複数台のパソコン接続が可能であることを確認してください。プロバイダによっては禁止もしくは別の契約が必要な場合があります。契約に違反して本機を使用すると、予想外の料金を請求される場合があります。 使用できない場合は、必要な契約を行うか、使用可能な他のプロバイダと契約してください。

通信料金について

RTA52iをダイヤルアップルータとしてご使用になる場合には、自動発信の機能をよくご理解の上ご使用ください。ダイヤルアップルータをパソコンやLANに接続した場合、ダイヤルアップルータはパソコンのアプリケーション（メールソフト、ブラウザなど）が送信するデータやLAN上を流れるデータの宛先を監視し、LAN外の宛先があると本体に設定された内容に従って自動的に回線への発信を行います。そのため設定間違い、回線切断忘れ、ソフトウェアや機器が定期送信パケットを発信していた場合には、予想外の電話料金やプロバイダ接続料金がかかる場合があります。 ときどき通信記録や累積料金を調べて、意図しない発信がないか、また累積料金が適当であるかどうかにご注意ください。また設定やリビジョンアップなどの最新情報を得るために、ときどきNetVolanteシリーズのホームページ(<http://NetVolante.rtrpro.yamaha.co.jp/>)を見ることを強く推奨します。

次のようなケースでは、予想外の通信料金がかかっている場合があります。

Real Player をインストールした時



警告

メール確認や転送を設定すると定期的にインターネットへ自動接続を行うので、その度に通話料金やプロバイダ接続料金がかかります。あらかじめご理解いただいた上で、この機能を設定およびご使用ください。

自動接続が設定されている場合、「かんたん設定ページ」の[ftpリビジョンアップ]や[ネットボランチホームページ]を押すとインターネットへ自動接続します。それに伴った通話料金やプロバイダ接続料金がかかりますので、あらかじめご理解いただいた上で、この機能をご使用ください。



注意

本機のアナログポートにはモデムを接続して使用することができますが、モデムの最高通信速度で接続できるとは限りません。モデムの通信速度は、その時の通信回線的环境や相手先の機器との相性によって決まりますので、モデムの最高性能よりも遅い速度でしか接続できない場合があります。

非同期(V110)はTA接続する場合のみ使用可能です。ルータとして接続する場合は使用できません。

i・ナンバーの機能追加

i・ナンバーサービスは、契約者回線番号とは別に電話番号を追加できるサービスです。2000年7月24日より追加できる電話番号が2つとなり、合計3つの電話番号を使い分けられるようになりました。本機のファームウェア Rev4.01 ではこのサービス追加に対応しており、3つのi・ナンバーポート番号を使用することができます。

i・ナンバーサービスを利用するには、NTTへ「i・ナンバーサービス」(有料)の申し込みが必要です。

設定のしかた

「かんたん設定ページ」の「電話設定」ページを開き、各ポートの[着信を許可するi・ナンバーのポート番号]で[ポート3]を選択することにより、3つ目の電話番号の着信を設定することができます。詳細については、ユーザーズマニュアル「3-15 TELポート番号毎に使い分ける」をご覧ください。

キャッチホン・ディスプレイ対応

従来のナンバー・ディスプレイ対応に加え、キャッチホン・ディスプレイサービスにも対応致しました。

キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やFAXを接続すると、通話中に着信した時にも電話番号を表示できます。キャッチホン・ディスプレイを利用するには、NTTへ「INSナンバー・ディスプレイサービス」(有料)の申し込みとキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やFAXが必要です。

設定のしかた

あらかじめ、ユーザーズマニュアル「3-6 通話中に他の着信を受ける」にしたがってキャッチホン(コールウェイトイング)の設定を行ってから、「かんたん設定ページ」または電話機でキャッチホン・ディスプレイを使用する設定を行ってください。

また、ご使用の電話機やFAXにも、キャッチホン・ディスプレイを使用する設定を行ってください。

電話機からの設定例

TEL1ポートをキャッチホン・ディスプレイ対応にする場合の手順。

オフフック **✳** **Ⓜ** **③** **⑨** **①** **②** **Ⓜ**

「かんたん設定ページ」の設定例

TEL1ポートをキャッチホン・ディスプレイ対応にする場合の手順。

「電話設定」の「TEL1ポートオプション設定」ページを開き、[ナンバー・ディスプレイ対応機器の接続]で[キャッチホンディスプレイを併用する]を選択します。



ボタン操作の追加メニュー項目

ボタン操作のメニューモードに以下の機能が追加されました。

IP アドレス/ネットマスク設定

本機の IP アドレスとネットマスクをボタン操作で設定することができます。

192.168. 0. 1	[本機のプライベート IP アドレス]
/ 24	/ [ネットマスク]

DHCP サービス設定

本機の DHCP サービス機能を切り替えることができます。

DHCPサービス サーバ	[DHCP サービス機能の設定値]
-----------------	---------------------

サーバ (工場出荷値)	本機の DHCP サーバ機能を使う場合に設定します。通常はこの設定のままお使いください。
OFF	本機の DHCP サーバ機能を使わない場合は、オフに設定します。

ファームウェアのリビジョン確認

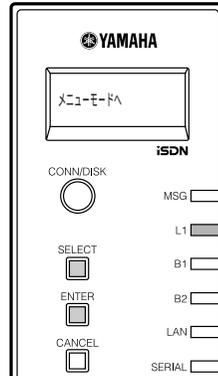
本機に内蔵されているファームウェアリビジョン番号を表示します。

RTA52i	機種名
Rev. 4.01.XX	ファームウェアのリビジョン番号

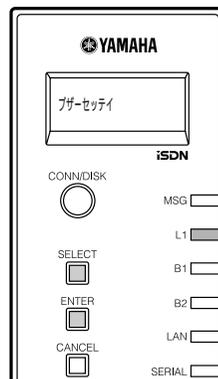
ブザーの止めかた

本機にはブザーが内蔵されており、工場出荷状態では回線を接続するときと切断するときにブザーが鳴るように設定されています。ブザー音は、ボタン操作で止めたり、鳴らしたりすることができます。

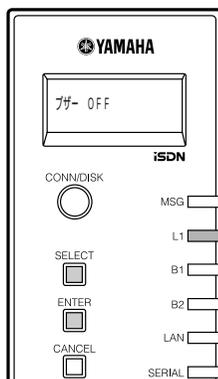
- 1 [SELECT] ボタンを押して [メニューモードへ] を表示し、[ENTER] ボタンを押します。
メニュー項目が表示されます。



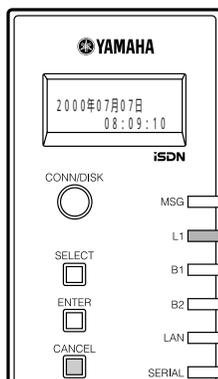
- 2 [SELECT] ボタンを何度か押して [ブザーセッテイ] を表示し、[ENTER] ボタンを押します。



- 3 [SELECT] ボタンを押して[ブザー ON]または[ブザー OFF]を選び、[ENTER] ボタンを押します。
ブザーを止めたいときは[ブザー OFF]、ブザーを鳴らしたいときは[ブザー ON]を選んでください。

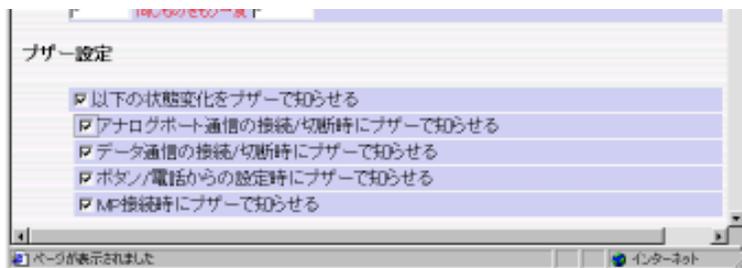


- 4 [CANCEL] ボタンを何度か押して、日付・時刻表示にもどります。



ブザーが鳴るルータ動作について

本機のブザーは、下記のルータ動作時に鳴るよう設定することができます。ブザーを鳴らすルータ動作については、「かんたん設定ページ」の「システム管理」ページで設定してください。



フレッツ・ISDN (IP 接続サービス) 対応

プロバイダ接続設定でフレッツ・ISDN (IP 接続サービス) に対応し、接続形式の選択が追加されました。接続形式で[常時接続(フレッツ・ISDN, IP 接続サービス)]を選択すると、自動切断機能や発信制限機能が設定されなくなります。

注意 フレッツ・ISDNを利用しない通常のダイヤルアップ接続契約の場合は、絶対に接続形式で[常時接続(フレッツ・ISDN, IP 接続サービス)]を選択しないでください。自動切断機能や発信制限機能が設定されないのてつなぎっぱなしの状態となり、予想外の電話料金やプロバイダ接続料金を請求される恐れがあります。

MEMO ● フレッツ・ISDNを利用する場合でも常時接続をしない場合は、接続形式で[ダイヤルアップ接続]を選択してください。この設定の場合は、フレッツ・ISDNでインターネット接続をしていないときに、その他の通話や接続で2回線分を使用可能です。

設定のしかた

- 1 「かんたん設定ページ」の「プロバイダ登録」ページでプロバイダ名、フレッツ・ISDNの電話番号、ユーザ名(ID)、パスワード、ネームサーバのIPアドレスを入力して、接続形式で[常時接続(フレッツ・ISDN, IP 接続サービス)]を選択し、[登録]ボタンを押します。
フレッツ・ISDNのアクセスポイント電話番号はNTTから通知されたもの、ユーザ名(ID)、パスワード、ネームサーバのIPアドレスはプロバイダから通知されたものを入力してください。

【端末型プロバイダ接続設定】—【新規登録】

契約したインターネットプロバイダから通知された情報を設定します。(同じプロバイダを複数登録しないで下さい)
DNSサーバアドレスの自動取得は、プロバイダが対応している必要があります。
登録しない課金や接続形態のために、登録欄には設定した項目の接続/切替がやなれる事を確認してください。
発信制限やユーザID/パスワード違いにより自動的に接続を禁止する場合がありますので、接続ができなくなった場合はそれぞれの項目を確認してください。

プロバイダ名	ProviderIP	半角32文字以内
接続形式	<input type="radio"/> ダイヤルアップ接続 <input checked="" type="radio"/> 常時接続(フレッツ・ISDN/IP接続サービス) 設定可能数は、1件)	
プロバイダの電話番号1	XXXXXXXXXX	半角入力32桁以内
2		(省略可能)
3		(省略可能)
ユーザID	username@provider.ne.jp	半角入力32文字以内
パスワード	*****	半角入力32文字以内
DNSサーバアドレス	IPアドレスを指定する	
プライマリDNSサーバアドレス	10.40.3.22	指定の場合半角入力
セカンダリDNSサーバアドレス	10.40.3.23	(省略可能)
セキュリティフィルタの定義と適用	すべて自動設定(推奨)	常時接続設定のみ有効

上記の項目を設定した後、登録ボタンで設定内容を登録してください。

ページが表示されました

- 2 「システム管理」ページで [ルータの ISDN 番号] に契約者回線番号を入力し、[登録] ボタンを押します。

The screenshot shows a web browser window with a form titled "ルータのISDN番号" (Router ISDN Number). The form has two main sections:

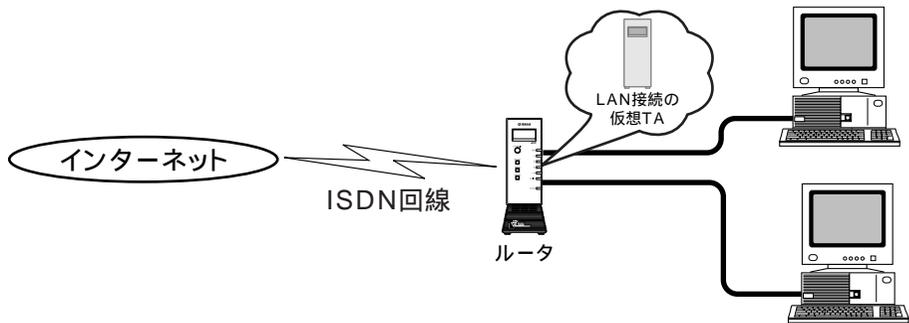
- ルータのISDN番号**: This section contains a text input field for "ISDN番号" (ISDN Number) with the value "00-0000-0000" and a "サブアドレス" (Sub-address) field. Below these is a checkbox group for "着信を許可するISDN番号のポート番号" (ISDN Number ports to allow incoming calls), with three checked options: "ポート1" (Port 1), "ポート2" (Port 2), and "ポート3" (Port 3).
- ルータに設定する日時**: This section has two radio buttons: "日時を変更しない" (Do not change date and time) and "下記指定日時に変更する" (Change to the specified date and time). The date and time are set to "2000年08月08日12時34分56秒".

At the bottom of the form, there is a red warning message: "上記の項目を設定した後、登録ボタンで設定内容を登録してください。" (After setting the above items, please register the setting contents with the registration button). Below the message are two buttons: "登録" (Register) and "設定値に戻す" (Reset to default values).

LAN-TA 機能

ネットワーク経由で本機をTAとして使用できるLAN-TA機能が追加されました。Windows98/2000の「仮想プライベートネットワーク」機能を利用することで、LAN上のパソコンから本機を仮想TAとして発信することができます。これを「LAN-TA」と呼んでいます。ネットワークゲームやICQソフトなどのグローバルIPアドレスを使ったサービスで、ルータでは正しく動作しない場合でも、接続が可能になります。

LAN-TA 機能は、PPTP (Point to Point Tunneling Protocol) に対応した機能でWindows98/2000のみで利用可能です。Macintoshでは利用できません。またLAN-TA 機能で着信することはできません。



- MEMO
- Windows95の場合は、「Microsoft Windows95 ダイヤルアップネットワーク1.3アップグレード」でアップデートする必要があります。アップデートについては、Microsoft社のホームページ（<http://www.microsoft.com/japan/windows/>）をご覧ください。
 - この機能を使用中は、ISDNの1回線分を占有します。すでに他のプロバイダ自動接続、TELポート、LAN-TA機能で2回線分を使用している場合は接続できません。
 - 2台のPCがLAN-TA機能により同時に接続した場合は、2回線分を使用することになります。プロバイダによっては同一ユーザ名で複数同時接続を許可していない場合がありますのでご注意ください。

必要な設定

LAN-TA 機能で接続するときは、ルータやパソコンに次の設定が必要です。

ルータに必要な設定

- ・ LAN-TA 機能の設定

パソコンに必要な設定

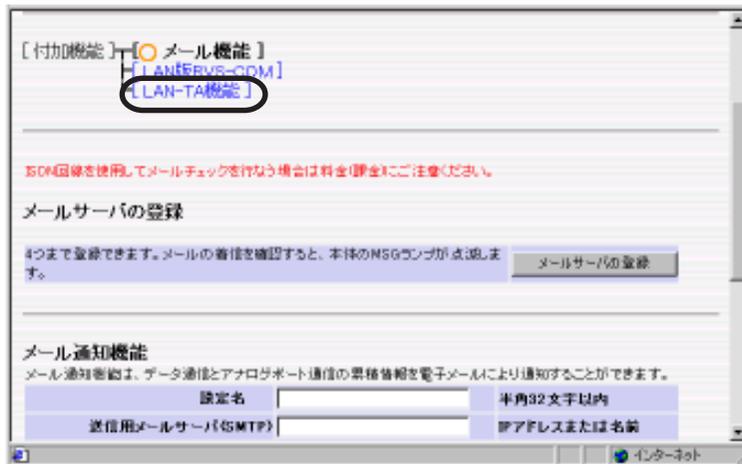
- ・ 仮想プライベートネットワークアダプタのインストール
- ・ ダイヤルアップ接続の設定

ルータの設定

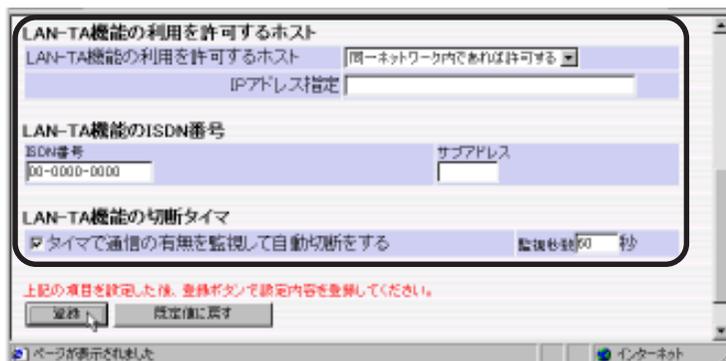
- 1 ブラウザを開き、本機へアクセスします。
「ネットワークパスワードの入力」ウィンドウが表示されます。
- 2 ルータの管理パスワードを入力して [OK] ボタンを押します。
本機に内蔵の「RTA52i へようこそ」が表示されます。



- 3 [かんたん設定] を押します。
- 4 [付加機能] を押します。
- 5 [LAN-TA 機能] を押します。



6 [LAN-TA機能の利用を許可するホスト]を選択し、接続制限や自動切断を設定します。



LAN-TA 機能の利用を許可するホスト

LAN-TA 機能の利用を許可する範囲を選択します。

LAN-TA 機能の ISDN 番号

LAN-TA 機能を使用する自局回線番号を入力します。

LAN-TA 機能の切断タイム

通信を行っていないときに自動切断するまでの時間を設定します。

7 画面下にある [登録] ボタンを押します。

メッセージにしたがってボタンを押すと、設定が変更されます。

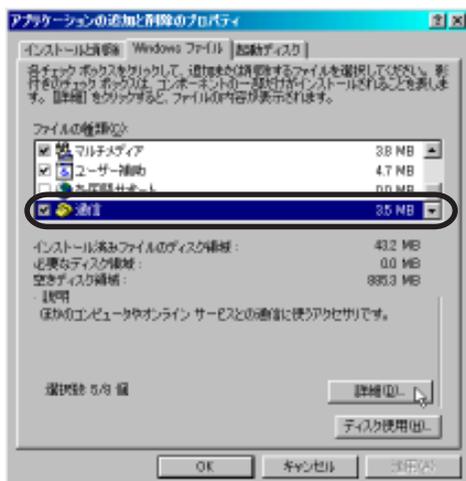
仮想プライベートネットワークアダプタのインストール

本機の LAN-TA 機能を使用するには、Windows の仮想プライベートネットワークアダプタが必要です。Windows95 の場合は、「Microsoft Windows95 ダイアルアップネットワーク 1.3 アップグレード」を入手して、インストールしてください。手順については、アップデートに添付のマニュアルをご覧ください。Windows98 でインストールされていない場合は、次の手順でインストールを行います。インストール中に Windows98 CD-ROM (OS インストール CD-ROM) が必要になる場合がありますので、作業を始める前にご用意ください。

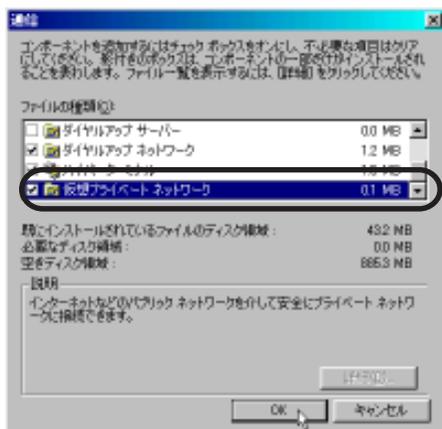
1 [コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] を開き、[Windows ファイル] タブを選択します。

インストール済みのファイルがリストに表示されます。

2 [通信] を選択し、[詳細設定] ボタンを押します。



3 [仮想プライベートネットワーク] [ダイヤルアップネットワーク] [ケーブル接続] にチェックを入れて、[OK] ボタンを押します。
通常、[ダイヤルアップネットワーク] [ケーブル接続] は既にチェックされています。
また、3つ以外にチェックが入っていてもかまいません。



4 [Windows ファイル] シートの [OK] ボタンを押します。
追加機能がインストールされます。CD-ROM を要求するメッセージが表示された場合は、Windows98 CD-ROM をドライブにセットしてください。

5 インストールが終わったら、パソコンを再起動します。
再起動後に、仮想プライベートネットワーク機能が使えるようになります。

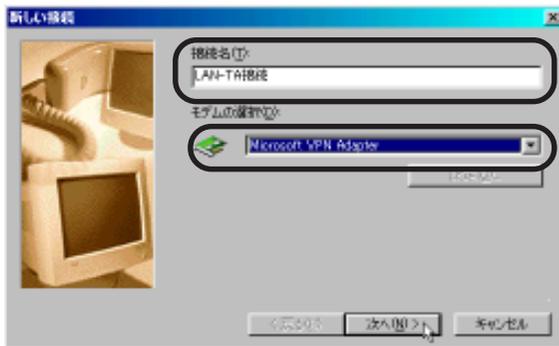
パソコンのダイヤルアップネットワーク設定

LAN-TA 機能を利用する各パソコンには、「ダイヤルアップネットワーク」フォルダに LAN-TA へアクセスするためのアイコンを作成します。

- 1 [マイコンピュータ]の[ダイヤルアップ ネットワーク]を開き、[新しい接続]アイコンを開きます。
[新しい接続]アイコンがない場合には、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」の画面が現れますので、[次へ]ボタンを押します。



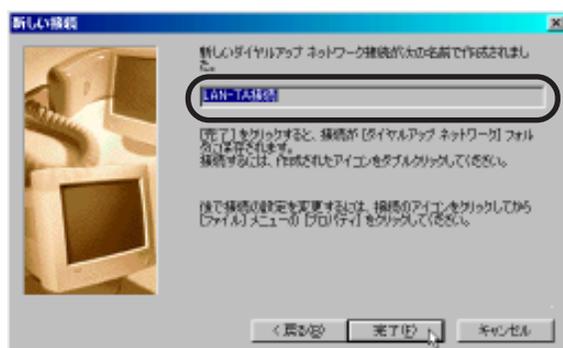
- 2 接続名を入力してモデム名で [Microsoft VPN Adapter] を選択し、[次へ] ボタンを押します。



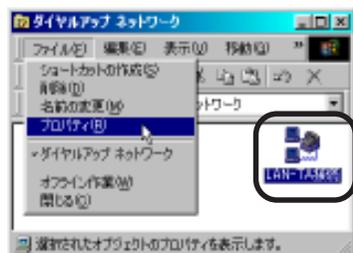
- 3 本機のIPアドレスと接続先の電話番号を半角スペース1つ空けて入力し、[次へ] ボタンを押します。



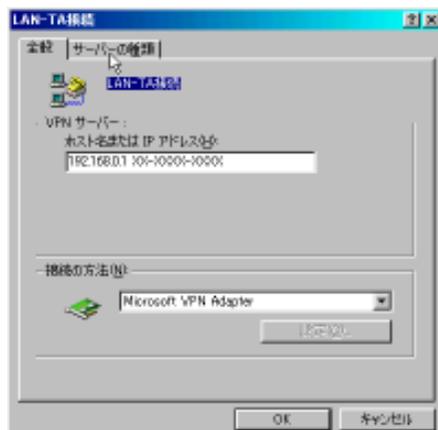
- 4 接続名を確認し、[完了]ボタンを押します。
「ダイヤルアップネットワーク」フォルダ内に、登録したLAN-TA接続のアイコンが表示されます。



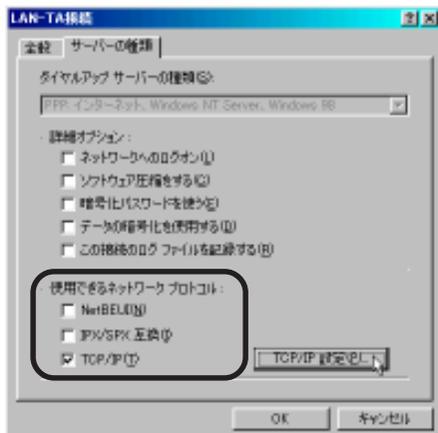
- 5 LAN-TA 接続のアイコンを選択し、ファイルメニューの [プロパティ] を選択します。



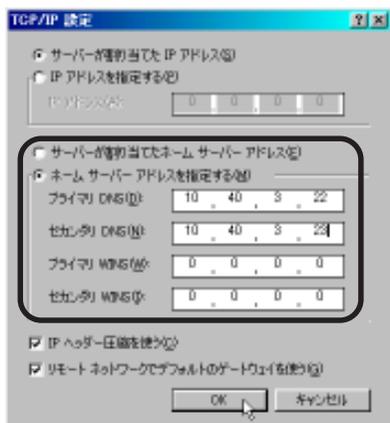
- 6 [サーバーの種類] タブを押します。



- 7 [使用できるネットワーク プロトコル]の[TCP/IP]にチェックを付けて[NetBEUI]と[IPX/SPX 互換]のチェックを外し、[TCP/IP 設定] ボタンを押します。



- 8 [名前サーバーアドレスを指定する]を選択してプロバイダから指定されたIPアドレスを入力し、各ウィンドウの[OK] ボタンを押してウィンドウを閉じます。名前サーバのIPアドレスが指定されていない場合は、[サーバが割り当てた名前サーバアドレス]を選択してください。



これで、LAN-TA 接続の設定が完了しました。

接続のしかた

LAN-TAで接続するときは、ダイヤルアップネットワークアイコンで接続します。

- 1 [マイコンピュータ]の[ダイヤルアップ ネットワーク]を開き、LAN-TA 接続のアイコンを開きます。



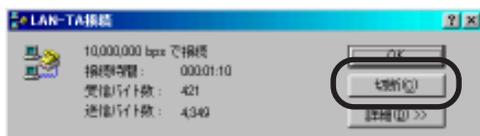
- 2 プロバイダから指定されたユーザー名とパスワードを入力し、[接続] ボタンを押します。本機へ接続すると、接続名のウィンドウが表示され、接続速度と接続時間が表示されます。



- MEMO
- [パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードの入力が不要になります。ただし、他の人に使われたくないときは、チェックしないでください。チェックしない場合は、接続のたびにパスワード入力が必要になります。

- 3 目的に応じたソフトウェアを使って、インターネットへアクセスします。

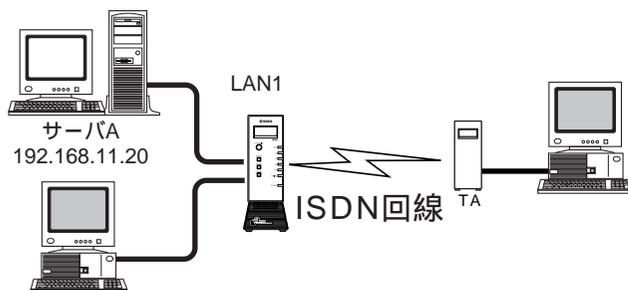
- 4 接続を解除するときは、[切断] ボタンを押します。プロバイダとの接続が切れます。



リモートアクセスの設定

リモートアクセスのサーバ機能設定が「かんたん設定ページ」で行えるようになりました。

本機はPIAFS通信に対応しており、外出先からPHSやTAを使ってLAN上のパソコンへアクセスすることができます。対応プロトコルはTCP/IPのみです。リモートアクセスをするときは、本機にリモートアクセスユーザのユーザIDやパスワードを登録し、リモートのパソコンにはダイヤルアップ接続の設定を行います。



LAN1プライベートIPアドレス:
192.168.11.0 ~ 192.168.11.255



注意

リモートアクセスを設定するときは、データ保全のために十分なセキュリティ設定を行ってください。セキュリティ設定を行わないと、LANに接続されたコンピュータが、不正侵入や盗聴、妨害、データの消失、破壊などに遭う可能性があります。

MEMO

- 本機のPIAFS通信機能は、PIAFS ver1.0/2.0/2.1に対応しており、
- PHS各社のデータ通信に対応したPHSモデムカードで、32Kbit/sもしくは64Kbit/sで本機にアクセスできます。
- 本機のリモートアクセス機能は、WindowsのNetBEUIプロトコルおよびMacOSのAppleTalkプロトコルには対応していません。
- Windowsでファイル共有をする場合は、NetBIOS over TCP/IPプロトコルの設定が、WindowsNTサーバが必要です。
- MacOS 8.0以降のMacintoshでファイル共有する場合はAppleShare IPサーバが必要です。
- MacOS9の場合は、[コントロールパネル]の[ファイル共有]で[TCP/IP接続でファイル共有を可能にする]を設定します。

必要な設定

リモートアクセスするときは、ルータやパソコンに次のような設定が必要です。

ルータの設定

- ・ 接続相手登録

LAN 内サーバまたはパソコンに必要な設定

- ・ 固定プライベート IP アドレスの設定
設定例については、ユーザズマニュアル 6-4 (P.154) をご覧ください。
- ・ ファイルサーバソフトの設定とユーザ登録
設定例については、ユーザズマニュアル 6-5 (P.162, 169) をご覧ください。

リモートアクセスするパソコンの設定

- ・ ダイヤルアップ接続設定
設定については、スタートマニュアル 3-7 (P.108) をご覧になり、本機の電話番号や登録したユーザ名、パスワードを入力してください。

接続相手を登録する

リモートアクセス設定は、「かんたん設定ページ」の「システム管理」ページで行います。

- 1 ブラウザを開き、本機へアクセスします。
「ネットワークパスワードの入力」ウィンドウが表示されます。
- 2 ルータの管理パスワードを入力して [OK] ボタンを押します。
本機に内蔵の「RTA52i へようこそ」が表示されます。



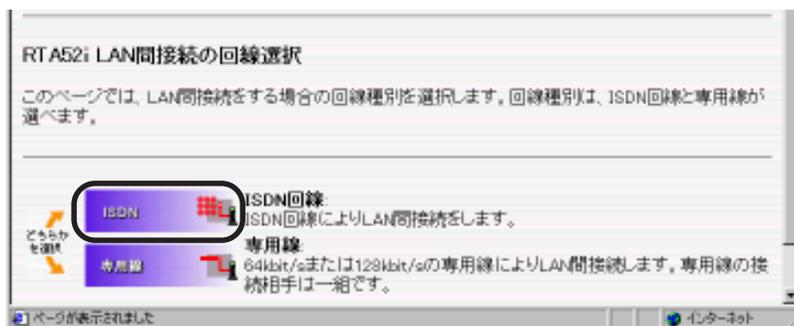
- 3 [かんたん設定] を押します。
- 4 [システム管理] を押します。

- 5 本機の ISDN 回線番号およびサブアドレスを入力し、[登録] ボタンを押します。LAN間接続の場合は、ルータの着信に長いサブアドレスを設定すると、不特定の相手からのアクセスに対するセキュリティとしても有効です。ただし、相手の機器によっては、サブアドレスは数字のみの場合がありますので、ご確認ください。またPHSではサブアドレスが通知されない場合がありますので、サブアドレスを設定しないでください。

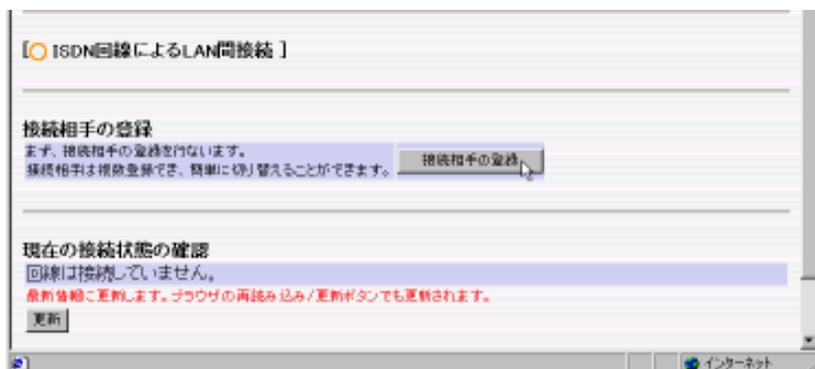


- 6 「かんたん設定ページ」のトップにもどって、[LAN 間接続] を押します。エラーメッセージが表示されたときは、プロバイダ接続の設定をすべて削除してから、やり直してください。

- 7 [ISDN] を押します。



- 8 [接続相手の登録] ボタンを押します。



- 9 自動接続で [しない] を選択し、接続相手側の電話番号およびサブアドレス、ユーザ ID、パスワードを入力し、[登録] ボタンを押します。
 接続相手が登録され、「ISDN 回線による LAN 接続」ページに戻ります。

The screenshot shows the 'ISDN回線によるLAN接続' window with the '接続相手の登録(新規)' tab selected. The window contains several sections with input fields and dropdown menus. The '接続相手の名前(P01)' field contains 'farsote User1'. The '自動接続' section has 'しない' selected. The '電話番号' field contains '0000000000'. The 'サブアドレス' field contains '設定されていません'. The 'パスワード認証' dropdown is set to 'パスワードを使わない'. The 'ユーザID' field is empty. The 'パスワード' field is empty. The '接続先の情報' section has '電話番号' set to '0000000000', 'サブアドレス' empty, 'パスワード認証' set to 'CHAPまたはPAPで認証する', 'ユーザID' set to 'farsoteName', and 'パスワード' set to '*****'. The '登録を登録する設定' section has 'ネットワークアドレス(登録情報)' empty, 'ネットワークマスク' set to '24', and '接続相手の端末にIPアドレスを付与する設定' checked. The 'IPアドレスの割り当て方法' dropdown is set to 'DHCPサーバから割り当てる'. The 'IPアドレス' field is empty. The '登録' button is highlighted.

電話番号 / サブアドレス

PHS や TA の場合は発信者番号をチェックして接続するので、接続相手の電話番号を設定してください。また、長いサブアドレスを設定しておく、他の機器と着信が区別でき、不特定の相手からのアクセスに対するセキュリティとしても有効です。ただし、相手の機器によっては、サブアドレスは数字のみの場合がありますので、ご確認ください。また PHS ではサブアドレスが通知されない場合がありますので、サブアドレスを設定しないでください。

パスワード認証 / ユーザ ID / パスワード

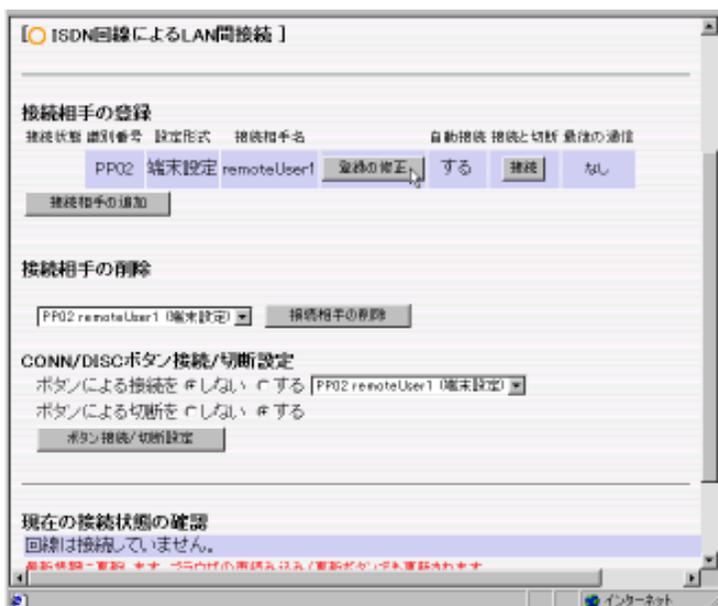
ユーザ ID とパスワードを設定することもできます。設定した場合は、両方でパスワード認証形式を合わせてください。

接続相手の端末に IP アドレスを付与する設定

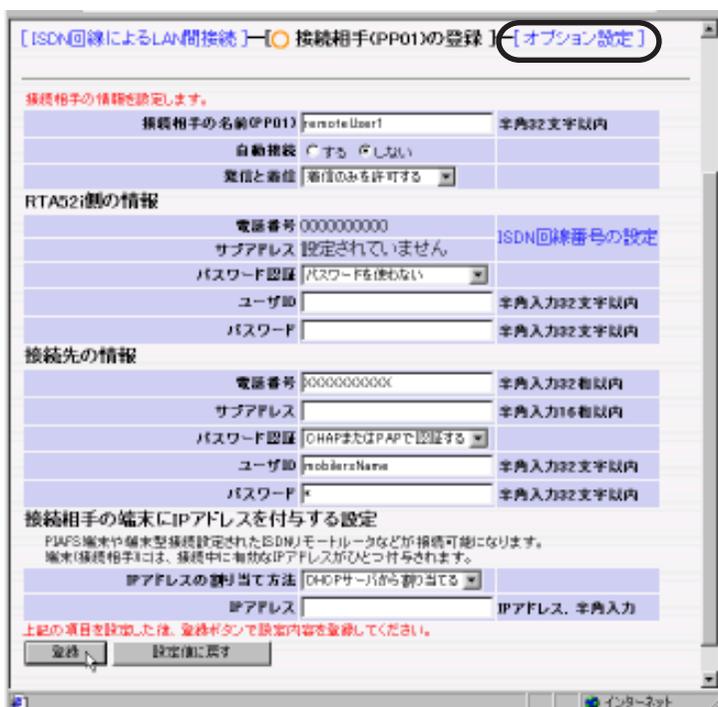
接続相手がリモートアクセスの場合は、[接続相手の端末に IP アドレスを付与する設定] をチェックし、接続相手に割り当てる方法を設定します。

通常は [DHCP サーバから割り当てる] を選択します。割り当てる IP アドレスを固定したいときは、[IP アドレスを指定する] を選択し、IP アドレスを入力してください。

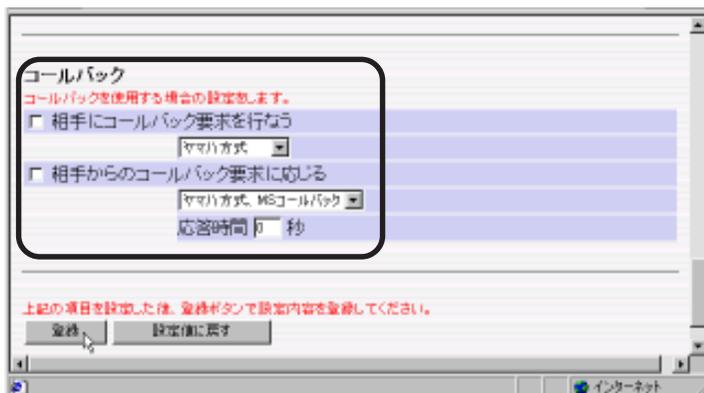
10 登録した接続相手の [登録の修正] ボタンを押します。



11 [オプション設定] を押します。



- 12** 接続制限の条件を設定します。
コールバックの設定が行えます。必要に応じて設定してください。



- 13** 画面下にある [登録] ボタンを押します。
メッセージにしたがってボタンを押すと、設定が変更されます。